

# 石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <http://www.isenshu-u.ac.jp>

代表電話番号  
**0225  
(22)7711**  
広報専用FAX  
**0225  
(22)7809**

## 石巻祭2013 にぎわう

### テーマに

# 進 慕



10月12、13の両日、「石巻祭2013」(小室遼介実行委員長)理工3・宮城県古川学園高が本学キャンパスで開催された。今年度は「慕進」をメインテーマに、さまざまな企画や研究成果の発表・展示が行われた。キャンパスには多くの学生、卒業生、地域の方々が来場し、大いに盛り上がった。

【メインステージ】12日は開会を告げる祝砲の後、「中昼祭」「フリーライブ」を開催。翌13日には「ミスター石巻コンテスト」写真①②、「キッズチア&ヒップホップ」「後夜祭」などが行われた。

【屋外】学生団体などの模擬店が建ち並び写真③、来場者をもてなしたほか、地場産品フェアやフリーマーケットも催された。

【教室・森口記念館・体育館】2、4号館の教室では企画展示が行われ、ゼミや研究室、サークルが研究の成果を発表した。森口記念館では現代芸術研究会と合唱部のライブが、体育館ではシンガロングライターのダンスめ、会場を盛り上げた。



▲ 入賞した3組(前列)を中心に、健闘した出場者たち

今年度は芸術プロダクションのワタナベエンターテインメントが自社で取り組んでいる「東日本大震災WAEチャリティープロジェクト」の一環として企画などに全面協力。多くのタレントが駆け付け、「お笑いライブ」(13日)を催したほか、「ミスター石巻コンテスト」ではお笑いコンビのロビンソンズが司会を務め、会場を盛り上げた。

## 昨年に続き1、3位独占

10月19日に開催された「学生自動車研究会整備コンテスト」(主催)公益社団法人自動車技術会東北支部学生自動車研究会(宮城県東北工業大学)組▽2位(櫻崎拓海(宮城県仙台育英学園高)／歸山祐史(青森県八戸工業高)組▽3位(瀨戸悠矢(宮城県松島高)／奥津勝太(宮城

入賞したのは次の3組(敬称略)。  
▽1位 伊深大祐(宮城県東北工業大学高)／佐藤俊樹(宮城県東北工業大学)組  
▽2位 櫻崎拓海(宮城県仙台育英学園高)／歸山祐史(青森県八戸工業高)組  
▽3位 瀨戸悠矢(宮城県松島高)／奥津勝太(宮城県石巻西高)組  
同コンテストは2人1組で参加し、灯火装置の点検やシミュレーターによる安全運転診断、学科テストなどを通して、自動車に対する技術や知識を競う。本学からは11組(22人)がエントリーし、井深・佐藤組は総合73点(100点満点)で、栄誉を勝ち取った。

伊深さんは「佐藤君と協力してそれぞれの得意分野を生かし、これまで学んだ知識や技術を発揮できたと思います。この結果を励みにして、これからも勉強を重ねていきます」と話した。

スポーツ大会で親睦を深める  
理工学部  
毎年恒例の「理工学部スポーツ大会」が10月10日、本学の全天候型陸上競技場で開催された。写真。同学部の教員と全学生が参加し、学年、学科を超えて親睦を深めた。



了八教授から代表の内海貴博さん(宮城県多賀城高)にトロフィーと賞品が手渡された。

## 学生ができること、すべきこと

### 震災復興を考えるフォーラム



本学の共創研究センターが主催する「東日本大震災を教訓に大学のパワーを生かした震災復興を考えるフォーラム」が11月2日に開催された。学外の教員2人による基調講演と、学内外の学生による活動報告を通して、大学の持つパワーを生かした震災復興を考察した。

このフォーラムは文部

ら教員と学生を招き、各大学の防災教育や学生の意識に関する報告が行われた。本学からは今年3月にブルネイを訪問し、復興状況を伝えた佐藤理可さん(理工2・宮城県宮城野高)、熊地麻友子さん(理工2・宮城県工業高)、鶴田李夏さん(理工2・宮城県明成高)の3人が登壇。震災後の取り組みについて報告し、被災地の学生ができること、すべきことを提案した。写真。

## 旧交温める ホームカミングデー



「ホームカミングデー2013」が10月12日に開催された。多くの卒業生が母校を訪れ、恩師や同窓生と再会し、旧交を温めた。写真。

学生ホールで行われた懇親パーティーでは、坂田隆学長、甘竹秀雄専修大学校友会長があいさつを述べ、卒業生たちの再訪を歓迎。伊東孝浩石巻専修大学同窓会長の発声で乾杯し、開宴した。開学25年目の今年、1期生が卒業20年を迎える節目の年ということもあり、当時の教員も多数出席。卒業生たちは思い出話に花を咲かせていた。

「ホームカミングデー2013」が10月12日に開催された。多くの卒業生が母校を訪れ、恩師や同窓生と再会し、旧交を温めた。写真。

本学の共創研究センターが主催する「東日本大震災を教訓に大学のパワーを生かした震災復興を考えるフォーラム」が11月2日に開催された。学外の教員2人による基調講演と、学内外の学生による活動報告を通して、大学の持つパワーを生かした震災復興を考察した。

このフォーラムは文部

ら教員と学生を招き、各大学の防災教育や学生の意識に関する報告が行われた。本学からは今年3月にブルネイを訪問し、復興状況を伝えた佐藤理可さん(理工2・宮城県宮城野高)、熊地麻友子さん(理工2・宮城県工業高)、鶴田李夏さん(理工2・宮城県明成高)の3人が登壇。震災後の取り組みについて報告し、被災地の学生ができること、すべきことを提案した。写真。

## 坂田学長も参加 ツール・ド・東北

11月3日、「ツール・ド・東北2013 in 宮城・三陸」(河北新報社、ヤフー主催)が開催された。写真は本学をスタート、ゴール地点とし、自転車で石巻市と南三陸町間を往復するコース中、グランフォンド(160キロ)を規定時間内で走破する上級コースを走った。写真。

野浩太さん(理工3・福島県相馬高)は「上り、下りが激しい長い道のりでしたが、美しい景色や沿道の声援に励まされて完走できました。最高の一日になりました」と感想を話した。



また、いしのまきワンセグが公開収録番組の1つ「ミチコ靖子嬢の女子会」の出演者をゲストに迎えた特別番組を放送したほか、3Dプリンタで制作された石巻市沿岸部の復元立体模型も展示された。

4500人來場 NHK復興企画  
NHK番組の公開収録やトークショーなど、多くの企画を集中開催する「NHK公開復興サポート明日へ in 石巻」が10月20日、本学キャンパスで催された。石巻市内から約4500人が来場し、各企画を楽しんだ。本学の教員、学生も独自の企画を展開。人間学部では未就学児を対象とした親子のふれあい企画を実施し、学生が紙芝居や絵本の読み聞かせを行った。写真。